



令和4年9月 1 日
第二ふたば園
たまご組

たまごぐみ クラスだより 9月号

早いもので、入園・進級をしてから、半年になろうとしています。1組さんは大好きな担任と安心して過ごせるようになり、今では気になる玩具に手を伸ばしたり、探索を楽しんでいます。2組さんは、身の回りの事をやってみようとする姿に、成長を感じる場面が増えました。残り半年間、お散歩へでかけたり、新しいことに挑戦したりと、楽しく過ごしていきたいと思います♪

つるつる*こねこね*感触遊び

夏の間、たくさんの感触遊びを楽しみました。水遊びだけでなく、寒天や小麦粉などに触れたり、ボディペインティングも体験しました♪

《1組》初めて見る素材に戸惑いながらも、保育者と一緒に少しずつ触れていくと、握ったり、こねたりしながら感触をじっくり味わいました！好きな感触に気付くと、すかさず担任に向かって微笑み、その気持ちを伝えようとしている可愛い姿が見られました☆

《2組》色の付いた寒天を見て「きれい！」と目を輝かせたり、お皿いっぱい素材を入れ、スプーンですくって「いただきまーす！」と、ごはんに見立てた遊びを楽しんだ子どもたちです♪

どうして噛み付いちゃうの？

自我が芽生える1歳からの時期。「自分でやりたい」「あれが欲しい」など、欲求が強くなってきます。その中で、自分の欲しいおもちゃを他の子が使っていた時、相手に何かを分かってほしい時などに、言葉の代わりにとっさに「噛みつき」という行動が出てしまいます。挨拶のつもりで噛みつく、興奮して噛みつく、お友だちにじゃれているつもりで噛みつくなど…噛みつきの理由は必ずしも不満が原因でないこともあります。小さい子どもは特に手以上に口が発達していることもあり、口が出てしまう傾向にあります。噛みつきが起こった際には、子どもの気持ちを受け入れ、理解してあげることも大切なのです。



9月のねらい

- 身体を動かして、元気に遊ぼう。
- 音楽や楽器に触れてみよう。